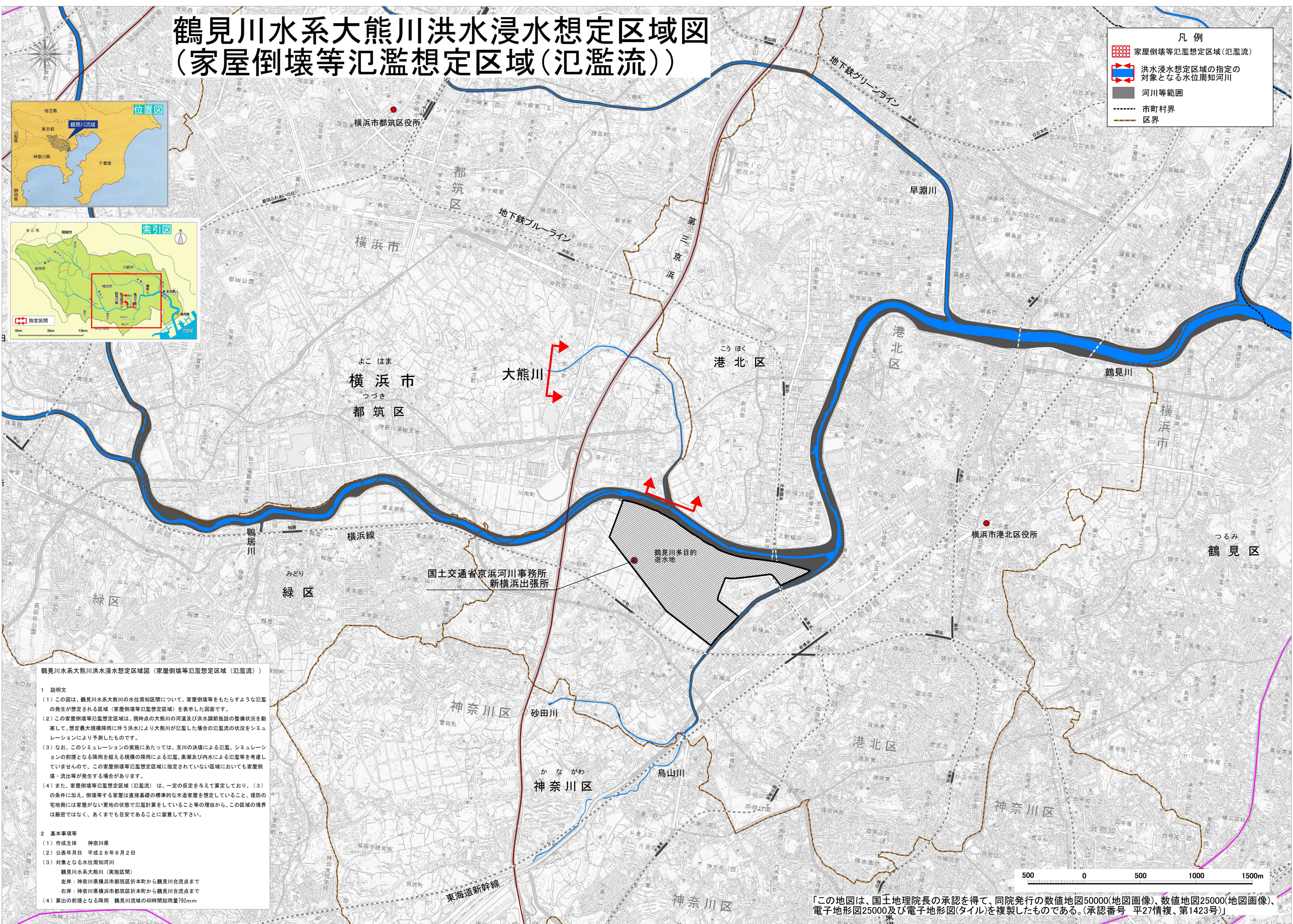


鶴見川水系大熊川洪水浸水想定区域図 (家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

凡例

- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川
- 河川等範囲
- 市町村界
- 区界



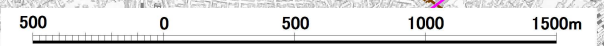
鶴見川水系大熊川洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流))

1 説明文

- この図は、鶴見川水系大熊川の水位周知区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。
- この家屋倒壊等氾濫想定区域は、現時点の大熊川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により大熊川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に指定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
- また、家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)は、一定の仮定を与えて算定しており、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意して下さい。

2 基本事項等

- 作成主体 神奈川県
- 公表年月日 平成28年8月2日
- 対象となる水位周知河川
鶴見川水系大熊川(実施区間)
左岸：神奈川県横浜市都筑区折本町から鶴見川合流点まで
右岸：神奈川県横浜市都筑区折本町から鶴見川合流点まで
- 算出の前提となる降雨 鶴見川流域の48時間総雨量792mm



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(地図画像)、電子地形図25000及び電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情複、第1423号)